

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 4月30日更新

事務事業名		熊本連携中枢都市圏圏画事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	市長公室	課長名	末永 大樹
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	企画課	担当者名	服部 直貴
	業務分野	11	戦略的政策の推進		所属班	企画広報班	(内線)	1257
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 9	事業連番 11692	法令根拠	地方中枢拠点都市圏構想推進要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	熊本連携中枢都市圏の圏域において圏域全体の経済成長をけん引するとともに都市機能や生活機能を高めることにより、圏域の住民全体の暮らしを支え、人口減少社会にあっても持続可能で魅力的な圏域の形成に資することを目的として平成28年度より熊本連携中枢都市圏として発足。これまでの熊本都市圏協議会を廃止し、熊本連携中枢都市圏連絡協議会として事業実施する。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会に参加する ・3つの政策分野 (1) 圏域全体の経済成長のけん引 (2) 高次の都市機能の集積・強化 (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 について連携を図る。 ・特別交付税の算定報告 ・連絡会議(首長会議) ※令和元年度より5つの検討部会が始まり各作業部会を設けた。
【主な予算費目】	予算計上なし

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

幹事会に参加した。
熊本連携中枢都市圏による熊本港の耐震強化岸壁の早期整備等に関する要望について書面決議を行なった。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携施策の実施

③予算の主な増減の理由

予算計上なし

成果指標

ア 取組事業本数

(単位)

本

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
ア	本	29	28	29	0	29	29	29	
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

年間3回の幹事会(課長会議)を行っており、定期的な報告がある。
今後は本市から、新規連携事業を提案できるように、全庁的な周知を継続する必要がある、検討部会から作業部会で事業を検討していく。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)